

令和7（2025）年度

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

<様式11-1>

山王児童館

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	安全・衛生の確保	手洗い指導	手洗いうがいの習慣は、声掛けにより自主的に出来る子どもが大半であるが、手の洗い方が雑な場合もあるので、引き続き注意喚起しつつ見守る。またハンカチを忘れる子どももいる。
	健康の管理・情緒の安定	おやつ提供	学校がある日のおやつは、一斉下校の日は全員で食べ、下校時刻が違う日は児童館へ帰ってきた子どもから食べた。行事等で時間や場所の確保が難しい場合は、おやつを持ち帰りして対応した。机1台につき1人が着席して感染症対策に配慮しつつも、和気あいあいとお喋りしながら交流する時間を大切にした。
		あいさつの指導	帰館時や食事の基本的な挨拶をはじめ、「ありがとう」等の相手を散うあいさつも自ら行えるように指導を続けた。登館時や帰館時にあいさつをしない子もいるので、職員が見本となるように引き続き声掛けを続けていく。
		連絡帳機能の確認	毎朝必ず保護者からの欠席等のメッセージを確認している。
	基本的 生活 習 慣 の 確 立	交通安全の指導	学校からの帰館時にトラブルがあった場合、子どもたちとその都度話し、場合によっては保護者や学校にも伝えるなど情報共有に努めた。今後も保護者・学校とも連絡を密にし、子どもたちの安全を確保していく。居残り学習や指導の為、16:30過ぎに下校する場合や、部活の為帰館時間が17:00を過ぎることもあった。状況に応じて、学校に確認をとっていた。学校から交通量が多い道を歩くため、学校などと連携し、4月14日～1年生を迎えに行き、交通量が多い横歩道前で1年生を見守ることを5月上旬までしていたが、見守りの必要な児童がいたため、9月末頃まで1年生の迎えを継続した。
		持ち物の整理整頓	ロッカーの中に物を入れっぱなしの子どもが多かった。制作途中の工作物に関しても、状況に応じて持ち帰るように声をかけていた。いつでも家庭的な雰囲気子どもたちを迎えるよう配慮しながら、自分の身の回りの事は自分でできる力を身に付けられるよう促す、声掛けは継続する必要がある。
		あいさつ指導	あいさつに関して引き続き声掛けしていく。何か嫌な事があって不機嫌に帰って来た時に、あいさつをしない事がある。あいさつしてから、嫌だった事について話すよう、促していく。
		ロッカー掃除	長期休業中以外の毎月月末の平日に、自分のロッカーの拭き掃除を行うとともに、育成室の本棚の拭き掃除や本の整理を行った。またロッカーに置きっぱなしになっているものを持ち帰る、処分するなど整理整頓の習慣づけを促した。
		長期休業中の学習の時間や午睡の時間など	極端に眠そうにしている子には就寝時間などを尋ねて事情を聞き、体調に無理のない活動になるよう配慮した。いつもと様子の違う子には寄り添って話を聞き、悩みの解決や情緒の安定に繋がるよう働きかけた。
			土曜日及び長期休暇中は、朝学習の時間を設けた。学習習慣を付ける事につながった。
			長期休暇中は午睡の時間を設け、体力の安定を図った。平日については、宿題をいつ取り組むか自分で決めて行うよう促した。
			ひろばにも時計を設置し、子どもたちが見通しを持って行動できるよう促し、徐々に成果が出てきている。
			遊びからお帰りの会などの切り替えが苦手な子どもが多かった。切り替えを身に付けさせる事は課題である。
			本の片付けが雑になりがちである。本を横に寝かさずに、元の場所に立てるよう、引き続き促していく。
			帰りの会前に、当番の子が率先してトイレのスリッパを揃えてくれていた。今後も他の人の事も考えて行動出来るよう促した。

令和7（2025）年度

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

<様式11-1>

山王児童館

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
子 ど も 育 成 機 能	生活体験の拡大	入会式の取組	入会式に向けて2～6年生で新入生を迎える準備をすすめ、司会やあそびの紹介を子どもたち自身で担い、くり返しリハーサルで練習を重ねた。
		入会式	練習の成果で、式でも自分たちの役割をはたす事が出来た。入会式のあそび紹介コーナーで上級生がコマの技などを披露した。下級生にとって目標や憧れとなる技を見せる事ができた。
	社会性の養成	おたんじょう会	毎月のおたんじょう会では、3年生以上が交代で実行委員として当日の司会やピアノ演奏をし、役割を担うことが出来た。下級生も身近なロールモデルである上級生の活躍する姿を見る事が出来ている。今年度は「スペシャルおやつ」として、全員が複数のメニューの中から自分たちで選べるようにしたことで、誕生月でない子もおたんじょう会を楽しみにしていた。
		お神輿見学	例年通り、元山王小学校へ神輿見学に行った。移動中、上級生が下級生に注意したり、世話をする様子が見られた。地域の方に作法などを教えて頂いた。
		おみせやさんごっこ	隔月でお金券による買い物ごっこを実施した。3年生以上の子どもたちがお店番を担い、終了後には振り返りを行った。振り返りで次のリクエストを聞き、次月に採用すると喜びの声があがっていた。
		ちぎり絵制作	千支のちぎり絵制作として、1枚の作品を全員で取り組んだ。完成した作品は館長が陶化デザイナーに届けた。
	自立の促進と自主性の尊重	修了式にむけての取り組み	一年間の思い出として、学童クラブで楽しかったことを紙に書き、修了式で発表してもらった。また、修了記念品として、プラバン作りにも取り組んだ。
		親子おもいで遠足	学童クラブの思い出として和菓子作り体験を実施した。親子参加型とし、普段の親子関係を見る貴重な機会となった。
		修了式	1年間の子どもたちの成長を祝い、全員に修了証書を渡した。一年間を締めくくる機会となった。
		プレゼント作り	新入会生へのプレゼントとして、3年生の子どもたちを学童クラブ代表として、プラバンのキーホルダー作りに取り組んだ。
子 育 て 支 援 機 能	子育てに必要な情報の提供と交換	保護者懇談会	年2回実施。年度初めに保護者の方々に各行事の説明をし、参加・協力をお願いした。2回目は夏休みの過ごし方や子どもたちの様子をお伝えした。
		個人懇談会	6月・12月に新入会世帯と希望する2年生以上の世帯を対象に2回実施した。児童館での様子をお伝えし、家庭での困りごと等も共有することができた。年度の中で2回実施することで、子どもの様子をより丁寧に共有することができている。
		学校の担任と懇談	学校担任の先生方と年2回懇談をするなど積極的に情報収集・情報交換を行なった。来年度も更に学校との連携を深めていきたい。
		登録説明会	登録方法を説明する場として設けたが、WEBでの申請に慣れている保護者が多いのか、参加者はなかった。
		入会説明会	令和8年度に入会する世帯の保護者を対象に説明した。新入会だけでなく、継続世帯の参加もあった。
		・学童だより（毎月発行） ・うえぶさくら、電話連絡などの日常の情報交換 ・面談	うえぶさくらやおたよりを通して、保護者や学校の先生に子ども達の様子を伝え、保護者来館時や電話連絡などでコミュニケーションを取り、安全面でも情緒面でもより安心な対応を心掛けた。 提出物に関して、締切を過ぎてから提出される保護者も一部いた。行事への出欠確認などは紙よりもWebの方が出しやすいという保護者もある一方で、さくらdaysでのメールを読まない保護者もあった。全保護者が既読になるような工夫が必要である。必要に応じて個別に保護者と話す機会も持った。
	子育ての仲間づくり	親子レクリエーション	懇談会の前に実施。全員でできるゲームと、手作り防災グッズを実施した。より多くの家庭に参加してもらえるよう企画や広報が課題。
		思い出遠足	親子行事として思い出遠足を実施、和菓子作り体験に出かけた。参加は少なかったが、参加者からは好評であった。

令和7（2025）学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

山王児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
生活援助機能																
手洗い指導	毎日															来館時、広場遊びの後、トイレの後、おやつの前など手洗い、手拭きの持参を促す。
おやつ提供	毎日															メニューを工夫し、子どものリクエストも聞くなどして提供。食べないのに無駄に開封しない、挨拶・食べ方の指導も行った。
あいさつの指導	毎日															相手の顔を見て挨拶をすることや自分から挨拶をしない子には職員が率先して挨拶するなど、挨拶の大切さを指導した。
連絡帳機能の確認	毎日															うえぶさくらでの連絡が中心ではあるが、上手く活用されていないご家庭も見られた。
交通安全の指導	毎日															下館時、交差点までの見送りを行うとともに、児童館への行き帰りで危険な行動があればその都度指導を行う。
持ち物の整理整頓	毎日															ロッカーの整理整頓、ロッカー内に物を放置しないなど、日々、声掛けを行った。
そうじ（夏休み中）	毎日															夏休み中は、班ごとや希望を聞くなどしながら担当場所を変えて掃除を行った。
子ども育成機能																
入会式の取組	5	13	5	13	11		5	3						50		入会式の司会、あそびの紹介を子どもたちが行うための練習を行った。
入会式	1	6	1	3	3		1		1				11	26		新入会生を迎えるお祝いの会を実施。
おたんじょう会	8	27	5	24	18		4							78		お誕生月の子どもをみんなでお祝いする。司会やピアノ演奏を子どもたちが行う。
お神輿見学	1	5	1	3	1		1							11		元山王小学校へ地域の神輿を見学に行く。
ロッカー掃除	8	24	5	28	20		3	3						83		長期休業中以外の月末の平日に自分のロッカーの拭き掃除を行った。
おみせやさんごっこ	6	21	3	21	13		1							59		お金券でおやつを購入。3年生以上が店員になる。今年度は2年生も見習いで店員補助に入った。
京都やんちゃフェスタ	1		1	1										2		土曜保育の児童を引率した。
ちぎり絵制作	3	3	1	3	1									8		冬休み中に、来年の干支のちぎり絵制作を行う。作品は陶化ダイサーへお届けする。
親子おもいで遠足	1	1	1	2	1		1						4	10		学童クラブの思い出に親子で参加できる和菓子作り体験を実施。
メッセージ書き	3	3	1	4	4		1							13		1年間の思い出を振り返り、楽しかったことを書き、発表した。
修了記念制作	3	3	1	4	4		1							13		記念品としてプラバンを制作した。
修了式準備	1			2										2		修了式の壁面飾りを自主的に手伝ってくれた。
修了式	1	1		3	2	2			1				2	11		今年度で学童クラブを終える児童や休会中の児童も含め全員の1年間の修了を祝う。
プレゼント作り	1			2										2		新入会生へ贈るプラバンのキーホルダーを制作した。
新年度準備	1	1		1										2		ロッカーや靴箱、傘立ての名札の貼りかえを出席児童で行った。
子育て支援機能																
保護者懇談会	2												8	8		4月は年間計画や保護者同士の顔合わせを中心に、7月はこどもの様子や夏休みについて話す。
個人懇談会	10												12	12		6,7月は新入会の全家庭対象、12月は必要に応じて対象家庭と懇談した。
親子レクリエーション	2	5	2	3									5	15		保護者懇談会の前に親子レクリエーションを実施。7月はみんなあそび、7月は新聞を使ったエコ工作。
学校の担任と懇談	2															7月と12月に小学校へ出向き、担任方とこどもたちについて情報共有を行った。
登録説明会	1															学童クラブ入会希望家庭へ登録申請の説明会を実施したが出席者はなし。
入会説明会	1	1											7	8		令和8年度に入会する世帯の保護者を対象に説明会を実施。

＊注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
 ＊注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること